

様式 1

令和 4 年度学長戦略経費（研究プロジェクト）実績報告書（研究実績）

1 研究課題名

豊かな運動経験を実現する学校向け運動プログラムの開発とその効果の検証

2 研究代表者

北海道教育大学岩見沢校スポーツ文化専攻・教授・奥田知靖

3 研究分担者・研究協力者

北海道教育大学岩見沢校スポーツ文化専攻・教授・志手典之  
北海道教育大学岩見沢校スポーツ文化専攻・教授・山本理人  
北海道教育大学岩見沢校スポーツ文化専攻・教授・森田憲輝  
北海道教育大学岩見沢校スポーツ文化専攻・准教授・安部久貴  
北海道教育大学岩見沢校スポーツ文化専攻・准教授・小倉晃布  
北海道教育大学岩見沢校スポーツ文化専攻・准教授・小林育斗

4 令和 4 年度研究計画の達成度

- a 計画とおり達成した  
 b 概ね達成した  
 c あまり達成できなかった  
 d 全く達成できなかった

【c 又は d を選択した場合の理由や問題点】

5 学術的成果

【論文投稿】

志手典之・奥田知靖・森田憲輝. 小学生男子における形態発育とアジリティ能力との関係について. 北海道教育大学紀要. 第 73 巻 第 1・2 号. 教育臨床研究偏. 令和 5 年 1 月.

【書籍出版】

【学会発表】

【その他】

## 6 実践的成果

### 【教材】

予備調査の段階（実施内容はその他に記載）

### 【評価方法】

予備調査の段階（実施内容はその他に記載）

### 【指導（授業）案】

予備調査の段階（実施内容はその他に記載）

### 【教育方法】

予備調査の段階（実施内容はその他に記載）

### 【その他】

- ・地域スポーツ（幼児～小学生）の体力・運動能力測定会（CAPS タレントチェック）。2022年8月20日、北海道教育大学岩見沢校、20名参加（幼児～中学生）。本研究の予備調査兼普及啓発イベントとしての体力測定方法の検討を行った。主な検討内容は、敏捷性・バランス・キック・投球・打つ・20m走・リバウンドジャンプの7項目であった。
- ・小学校1～3年の運動能力測定（キッズスポーツ運動能力チェック）。第1回2022年5月21日（118名）。第2回2023年2月8日（99名）。敏捷性・投球・キック・バランスの4項目の測定、および運動習慣アンケートを実施し、本研究の予備調査兼普及啓発イベントとした。現在はアンケート結果は解析中である。
- ・子どもの可能性を開く豊かな運動環境についての普及啓発セミナー。2023年11月6日。岩見沢市スポーツセンター。16名参加。理論+実技。
- ・子どもの可能性を開く豊かな運動環境についての普及啓発セミナー。2023年2月11日。士別市総合体育館。24名参加。理論+実技。

## 7 その他、研究実施状況

今年度は、予備調査が中心のため、報告できる実績は少ない。主に、運動能力調査項目の選定、アンケート調査項目の選定を行った。当初の予定の一つであった運動プログラムについては検討が十分ではないため、2023年6月まで継続して実施する予定となっている。

また、2023年6月から子どもの体力測定の調査、介入群・非介入群での調査を開始する予定となっている。これらの打ち合わせを1月13日（金）岩見沢市立南小学校、1月27日（金）に岩見沢市立中央小学校で実施した。